

平成 27 年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃 木 県



# 歯及び口腔の健康づくりに関する報告について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成27年9月17日

栃木県知事 福田 富一

# 目 次

I	はじめに	p. 1
II	県民の歯及び口腔の健康の状況	
1	1 歳 6 か月児	p. 1
2	3 歳児	p. 5
3	園児・児童・生徒	p. 9
4	成人・高齢者	p. 14
III	平成 26 年度歯科保健医療対策体系	p. 18
IV	平成 26 年度に講じた施策	
1	歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業	p. 19
2	歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業	p. 22
3	障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業	p. 24
4	歯科保健医療提供体制の整備関連事業	p. 28
V	平成 27 年度に講じる施策	p. 33
VI	資料：県内市町におけるライフステージごとの取組み（平成 26 年度）	p. 34

## I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康の状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して平成 26 年度に講じた施策及び平成 27 年度に講じる施策について、県議会に報告し、県民に公表するものです。

## II 県民の歯及び口腔の健康の状況

各ライフステージ（1 歳 6 か月児・3 歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）の県民の歯や口腔の健康の状況については次のとおりです。

### 1 1 歳 6 か月児

市町村が母子保健法（昭和 40 年法律第 141 号）第 12 条に基づき実施した満 1 歳 6 か月を超え満 2 歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

#### （1）健康診査の受診状況

平成 25 年度における県内全域の対象者数は 15,808 人であり、うち健康診査の受診者数は 15,303 人でした。受診者のうち、むし歯がある 1 歳 6 か月児は 288 人でした（表 1）。

表 1 1 歳 6 か月児健康診査受診状況（平成 25 年度）

地 域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,786	4,619	96.5	4,557	62	1.34	193	0.04
県西地域	1,219	1,166	95.7	1,146	20	1.72	51	0.04
県東地域	1,102	1,074	97.5	1,041	33	3.07	102	0.09
県南地域	3,818	3,730	97.7	3,664	66	1.77	198	0.05
県北地域	2,991	2,886	96.5	2,832	54	1.87	176	0.06
安足地域	1,892	1,828	96.6	1,775	53	2.90	162	0.09
県合計	15,808	15,303	96.8	15,015	288	1.88	882	0.06

〔栃木県保健福祉部こども政策課「平成 26 年度版とちぎの母子保健」から作成〕

#### ※地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

## (2) むし歯有病率

平成 25 年度におけるむし歯有病率は県平均が 1.88%であり、最も高かったのは塩谷町で 4.44%、最も低かったのは茂木町で 0%でした（図 1）。

都道府県別では全国平均が 1.91%であるのに対して、本県は 1.88%で第 27 位でした。これまでの推移を見ると、本県の有病率は全国平均を上回っていましたが、平成 25 年度に初めて下回りました（図 2、3）。

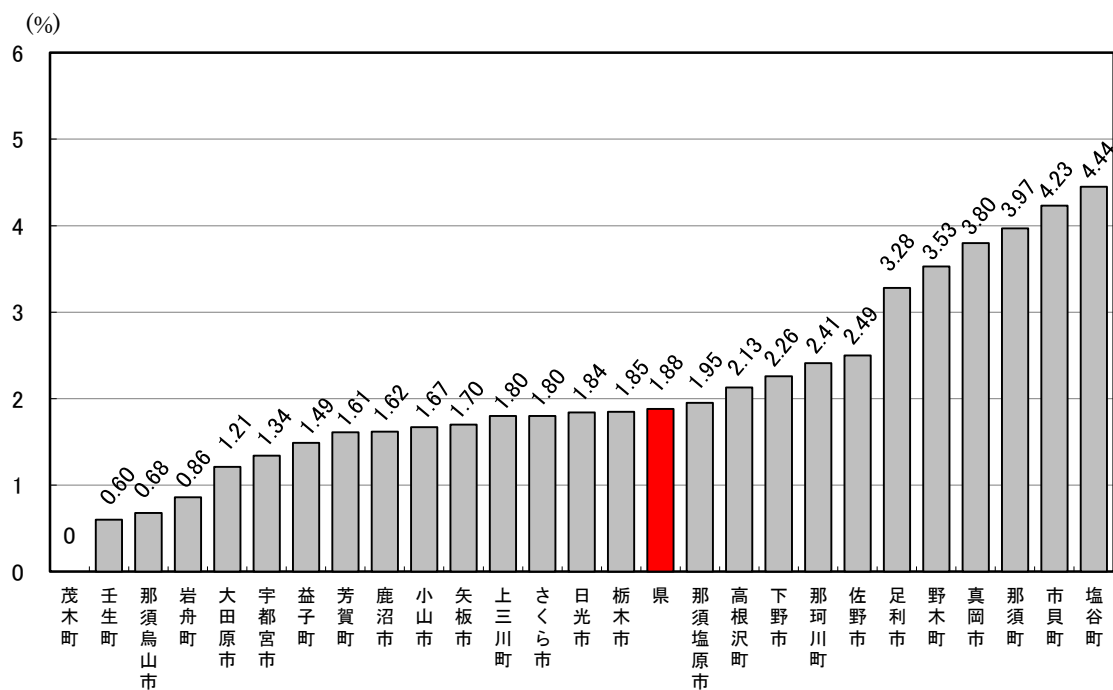


図 1 県内における 1 歳 6 か月児むし歯有病率（平成 25 年度）

〔栃木県保健福祉部子ども政策課「平成 26 年度版とちぎの母子保健」から作成〕

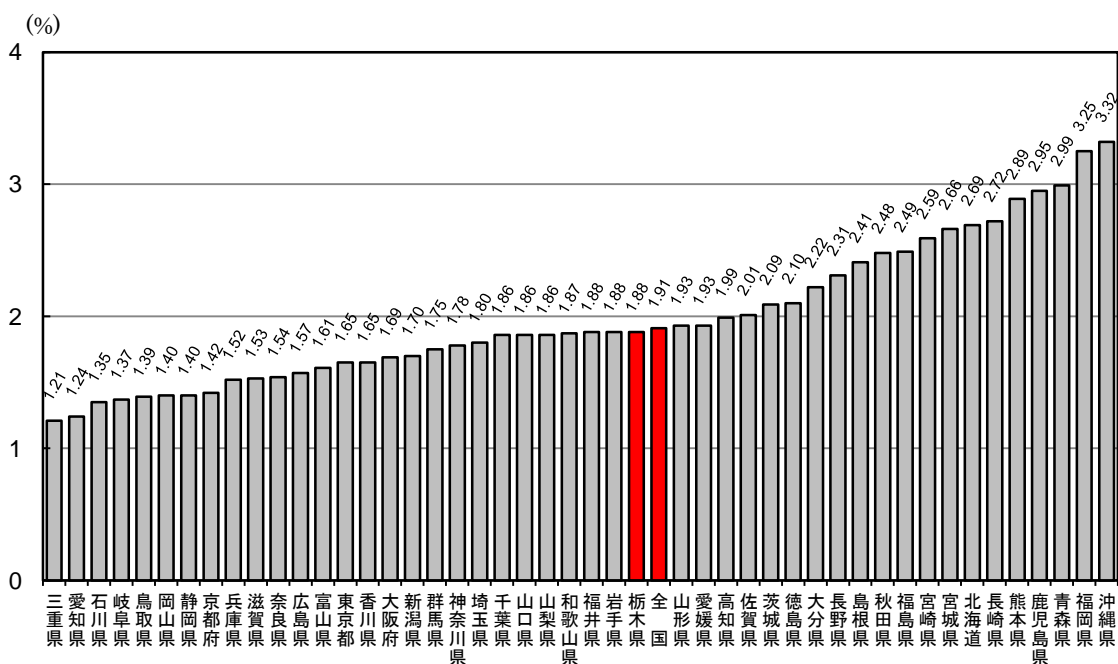


図 2 都道府県別 1 歳 6 か月児むし歯有病率（平成 25 年度）

〔厚生労働省「平成 25 年度 1 歳 6 か月児歯科健康診査実施状況」から作成〕

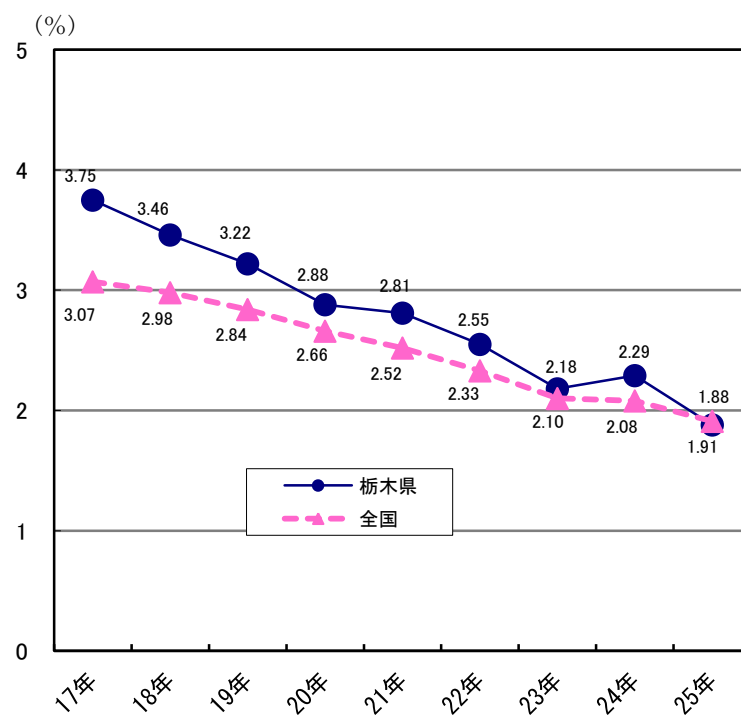


図3 1歳6か月児におけるむし歯有病率の推移

[栃木県保健福祉部子ども政策課「平成26年度版とちぎの母子保健」及び厚生労働省「平成25年度1歳6か月児歯科健康診査実施状況」から作成]

### (3) 一人平均むし歯数

平成25年度における一人平均むし歯数は県平均が0.06歯であり、最も多かったのは塩谷町で0.18歯、最も少なかったのは茂木町で0歯でした（図4）。

都道府県別では全国平均が 0.05 歯であるのに対して、本県は 0.06 歯で第 30 位でした（図 5）。

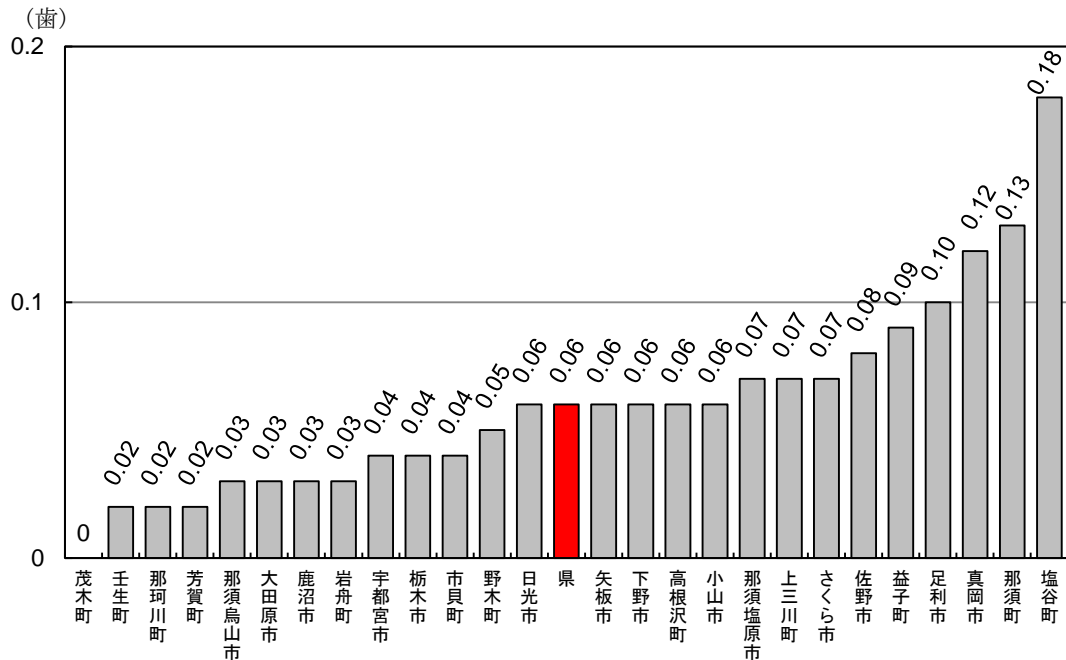


図4 県内における1歳6か月児一人平均むし歯数（平成25年度）

〔栃木県保健福祉部こども政策課「平成26年度版とちぎの母子保健」から作成〕

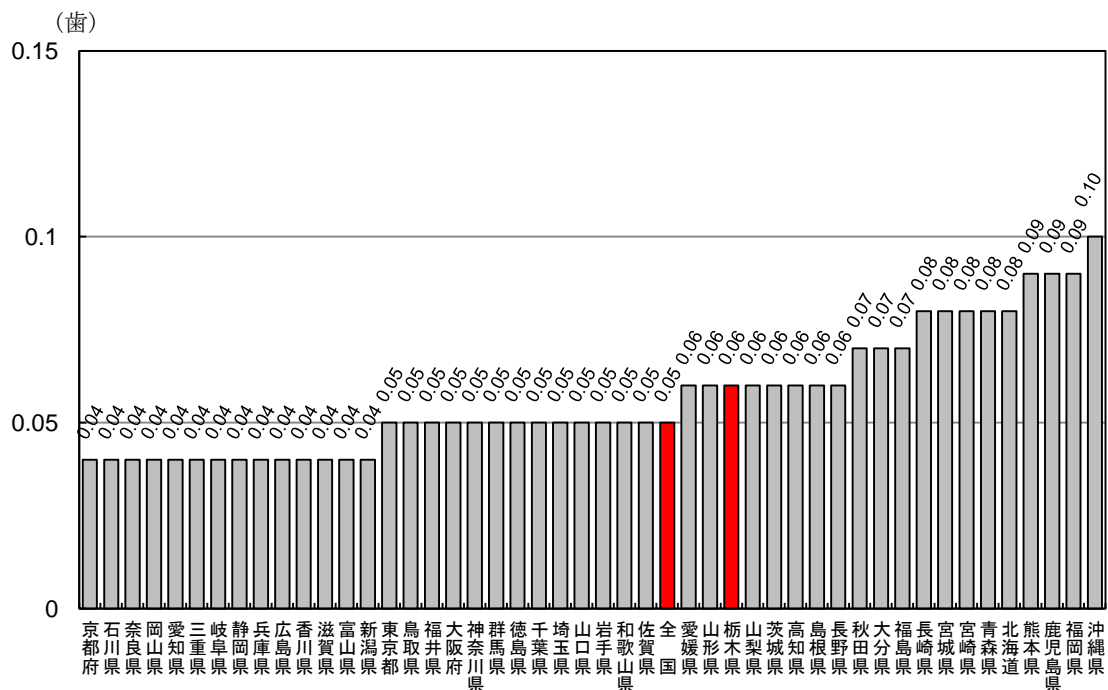


図5 都道府県別 1歳6か月児一人平均むし歯数（平成25年度）

〔厚生労働省「平成25年度1歳6か月児歯科健康診査実施状況」から作成〕



## 2 3 歳児

市町村が母子保健法第 12 条に基づき実施した満 3 歳を超え満 4 歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

### (1) 健康診査の受診状況

平成 25 年度における県内全域の対象者数は 16,758 人であり、うち健康診査の受診者数は 16,060 人でした。受診者のうち、むし歯がある 3 歳児は 3,186 人でした（表 2）。

表 2 3 歳児健康診査受診状況（平成 25 年度）

地 域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,901	4,656	95.0	3,899	757	16.26	2,781	0.60
県西地域	1,378	1,318	95.6	1,050	268	20.33	1,044	0.79
県東地域	1,231	1,193	96.9	936	257	21.54	976	0.82
県南地域	4,007	3,900	97.3	3,092	808	20.72	2,755	0.71
県北地域	3,146	2,981	94.8	2,388	593	19.89	2,251	0.76
安足地域	2,095	2,012	96.0	1,509	503	25.00	2,047	1.02
県合計	16,758	16,060	95.8	12,874	3,186	19.84	11,854	0.74

〔栃木県保健福祉部子ども政策課「平成 26 年度版とちぎの母子保健」から作成〕

#### ※地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

## (2) むし歯有病率

平成 25 年度におけるむし歯有病率は県平均が 19.84%であり、最も高かったのは那須町で 36.30%、最も低かったのはさくら市で 7.69%でした（図 6）。

都道府県別では全国平均が 17.91%であるのに対して、本県は 19.84%で第 26 位でした（図 7）。

また、これまでの推移を見ると、本県の有病率が全国平均を上回っている状況です（図 8）。

なお、平成 25 年度は「栃木県歯科保健基本計画」を策定以来始めて、計画に掲げる目標値である 20%を下回りました。

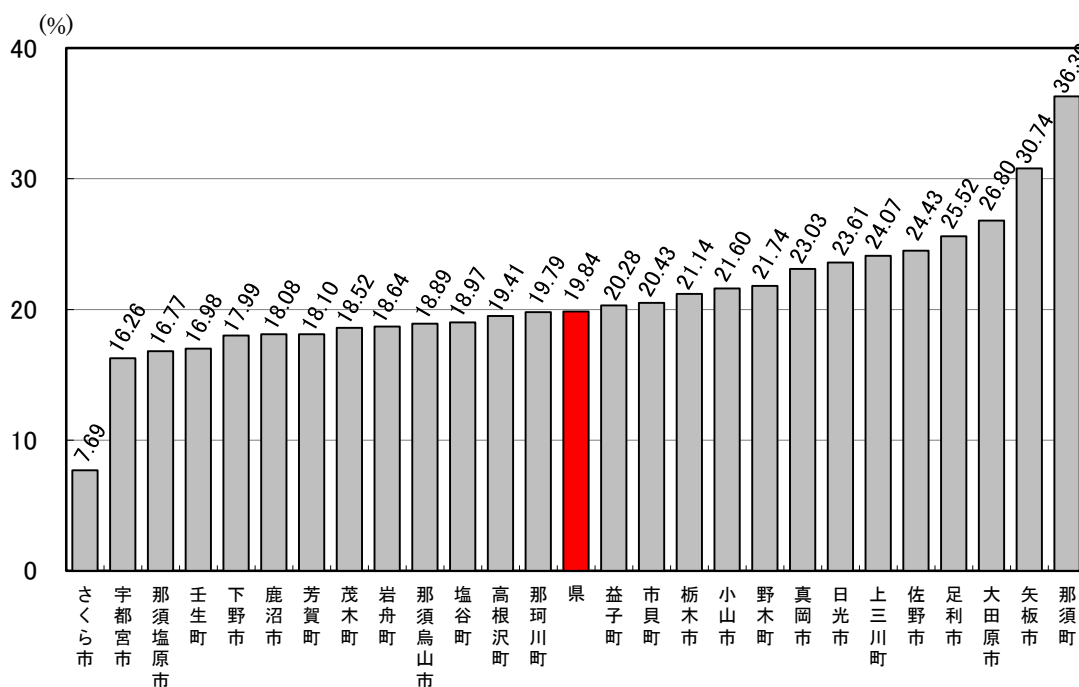


図 6 県内における 3 歳児むし歯有病率（平成 25 年度）

〔栃木県保健福祉部子ども政策課「平成 26 年度版とちぎの母子保健」から作成〕

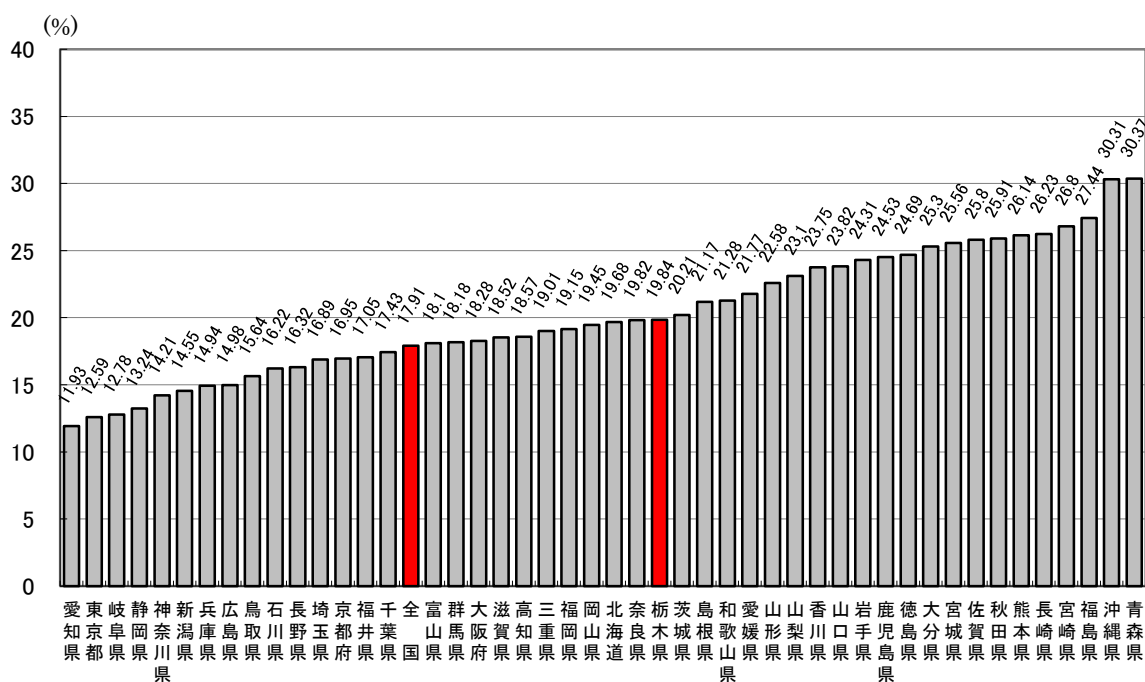


図 7 都道府県別 3 歳児むし歯有病率（平成 25 年度）

〔厚生労働省「平成 25 年度 3 歳児歯科健康診査実施状況」から作成〕

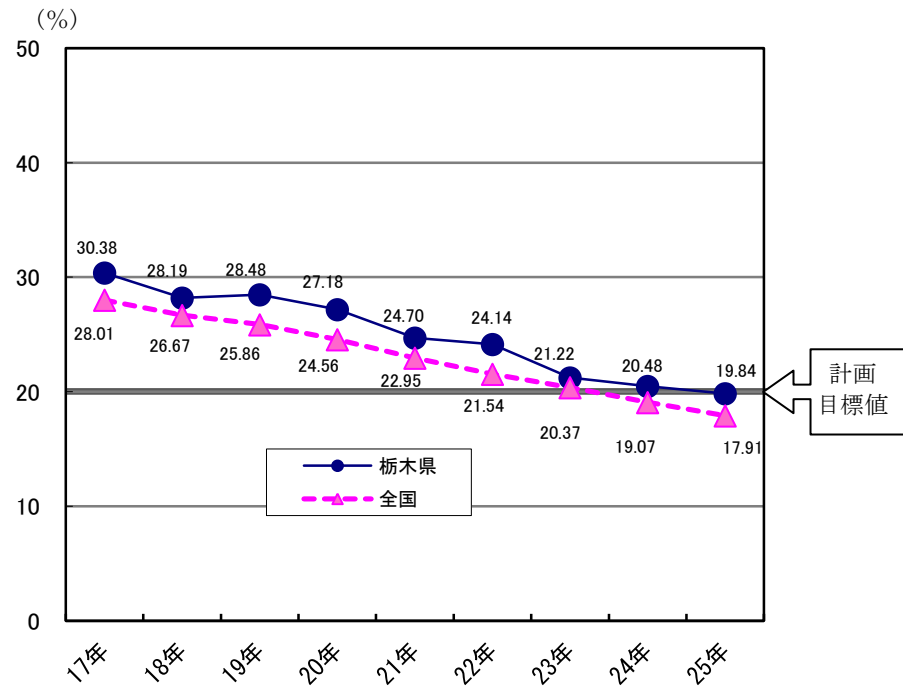


図8 3歳児におけるむし歯有病率の推移

〔栃木県保健福祉部こども政策課「平成26年度版とちぎの母子保健」及び厚生労働省「平成25年度3歳児歯科健康診査実施状況」から作成〕

### (3) 一人平均むし歯数

平成25年度における一人平均むし歯数は県平均が0.74歯であり、最も多かったのは那須町で1.60歯、最も少なかったのはさくら市で0.38歯でした（図9）。

都道府県別では全国平均が0.63歯であるのに対して、本県は0.74歯で平均と比べるとむし歯数が多く、第26位でした（図10）。

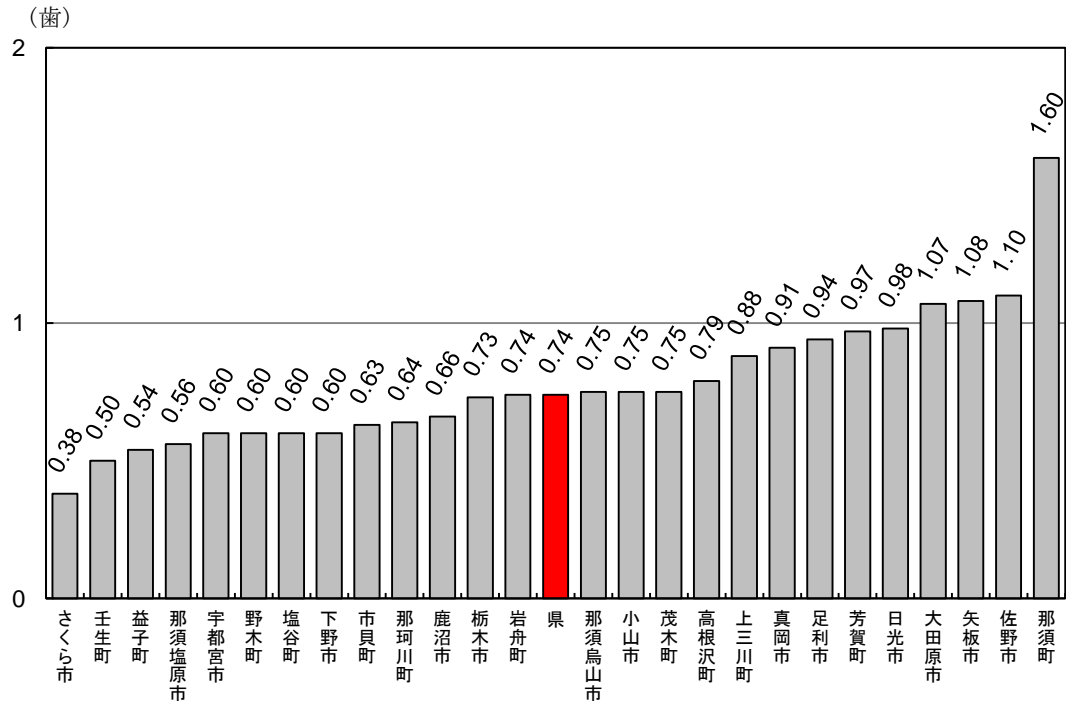


図9 県内における3歳児一人平均むし歯数（平成25年度）

〔栃木県保健福祉部子ども政策課「平成26年度版とちぎの母子保健」から作成〕

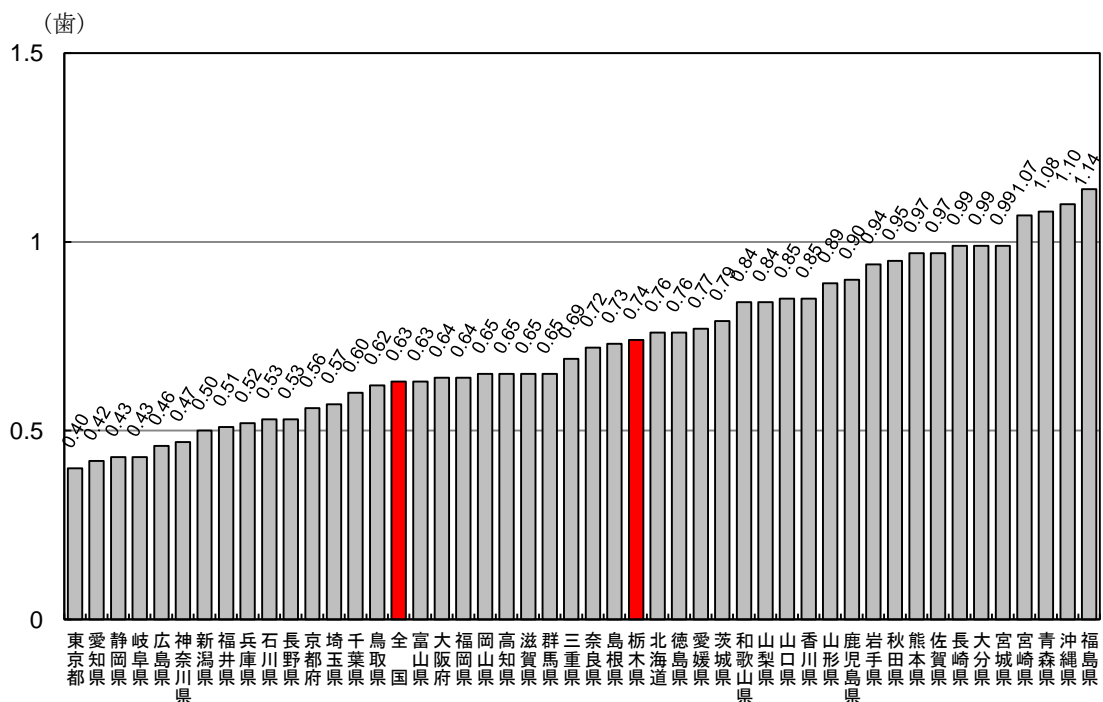


図10 県内における3歳児一人平均むし歯数（平成25年度）

〔厚生労働省「平成25年度3歳児歯科健康診査実施状況」から作成〕

### 3 園児・児童・生徒

園児（翌学年の初めから学校に入学予定の園児）については学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 11 条に基づき市町村の教育委員会が、また、児童・生徒については同法第 13 条第 1 項に基づき各学校長が実施した健康診断の結果は次のとおりです。

#### (1) むし歯有病率(※)の推移

##### ア 園児（幼稚園児）

幼稚園児（5 歳児）におけるむし歯有病率については減少する傾向でありましたが、平成 25 年度は 45.6%に増加しました。

本県の平成 26 年度は調査対象が僅少であること等により、統計値として適当な数値が得られなかったとして公表されていません（表 3、図 11）。

※文部科学省の学校保健統計調査では「被患率」と表記しているが、本書では同義の「有病率」を使用している。

表 3 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
幼稚園	合計	55.9	56.8	58.3	60.6	52.8	53.3	44.6	41.8	45.6	X
	処置完了者	17.7	15.5	23.3	24.7	20.7	17.7	16.2	16.1	18.2	X
	未処置歯のある者	38.2	41.2	35.0	35.9	32.2	35.6	28.3	25.8	27.4	X

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

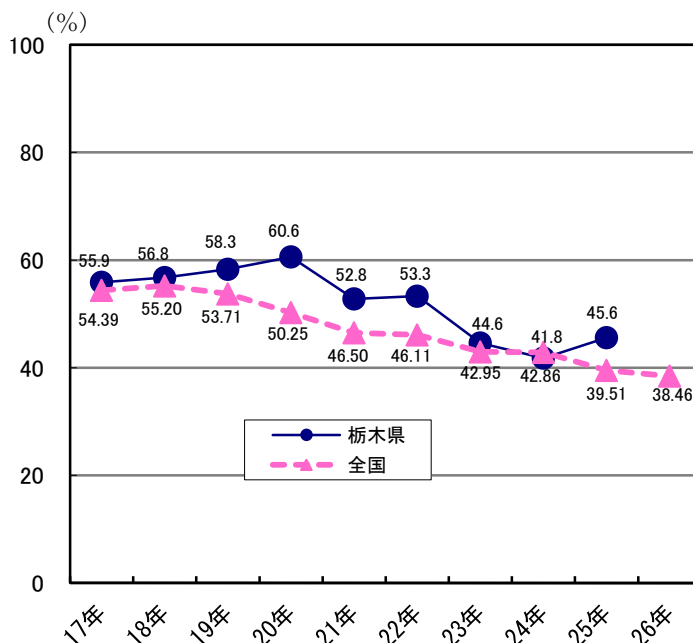


図 11 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率の推移

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

## イ 小学生

小学生のむし歯有病率については、ここ数年は 60%前半で推移していましたが、平成 26 年度は 56.5%まで減少しました（表 4）。

しかし、未だ本県の有病率は全国平均を上回っています（図 12）。

表 4 小学生におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
小学生	むし歯	合 計	73.4	70.9	71.5	69.1	64.9	60.9	61.8	60.7	60.4	56.5
		処置完了者	32.5	31.8	32.2	31.5	29.0	26.7	28.7	26.0	27.1	26.6
		未処置歯のある者	40.9	39.2	39.2	37.6	35.9	34.2	33.1	34.7	33.3	29.9

（注）四捨五入の関係により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

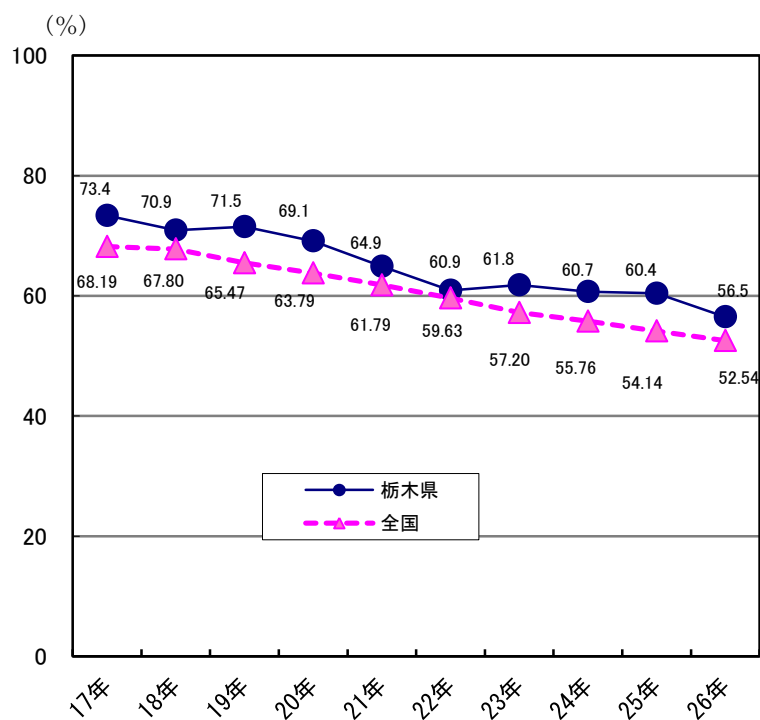


図 12 小学生におけるむし歯有病率の推移

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

## ウ 中学生

中学生のむし歯有病率については、ここ数年は微増する傾向でしたが、平成 26 年度は 44.9%まで減少しました（表 5）。

平成 23 年度以降、本県の有病率は全国平均を上回っており、年々差が広がる傾向にありましたが、平成 26 年度は大幅に縮まりました（図 13）。

表 5 中学生におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
中 学 生	む し 歯	合 計	62.1	67.3	64.3	59.9	59.2	50.0	50.0	51.2	52.4	44.9
		処置完了者	33.1	36.8	33.2	33.5	34.4	29.6	28.3	30.3	28.4	25.3
		未処置歯のある者	29.1	30.4	31.1	26.4	24.8	20.4	21.7	20.8	24.0	19.6

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

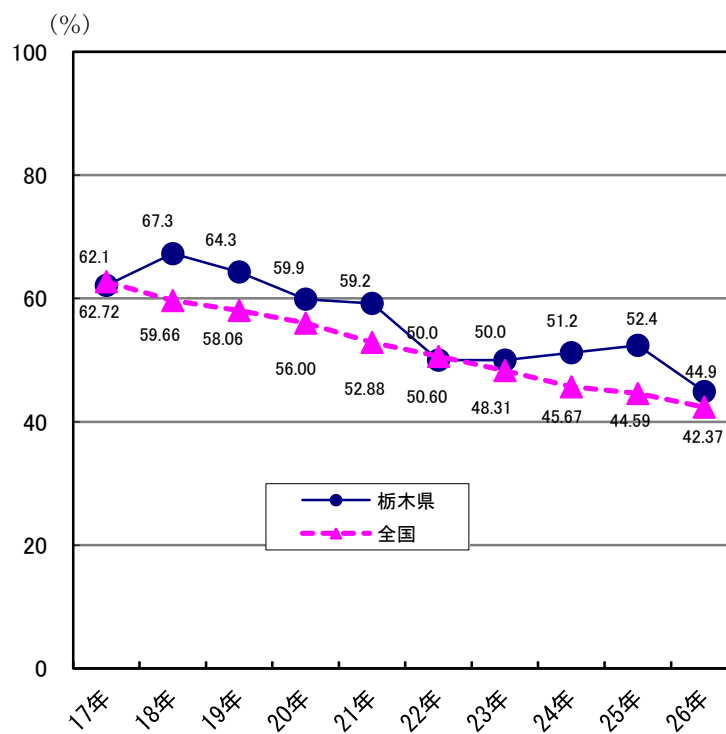


図 13 中学生におけるむし歯有病率の推移

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

## エ 高校生

高校生のむし歯有病率については減少する傾向にあり、平成 26 年度は 59.3%まで減少しました(表 6)。

また、本県の有病率は全国平均を上回っている状況です(図 14)。

表 6 高校生におけるむし歯有病率の推移

(単位：％)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
高校生	合計	77.3	77.5	75.1	68.2	65.9	67.1	64.6	62.5	60.9	59.3
	処置完了者	47.0	45.8	42.3	41.9	37.4	39.6	36.5	35.5	32.9	36.8
	未処置歯のある者	30.3	31.7	32.9	26.4	28.5	27.5	28.1	27.2	28.0	22.6

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典：文部科学省「学校保健統計調査」]

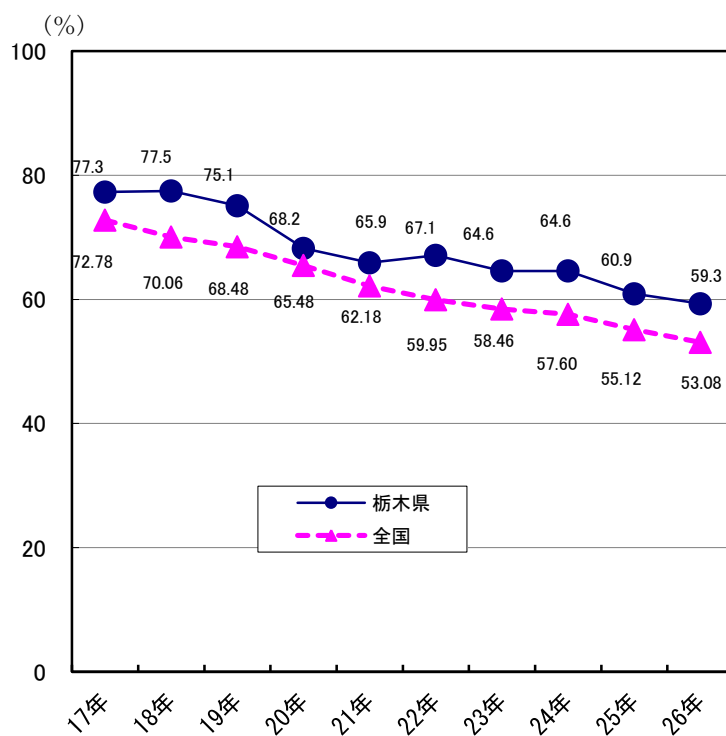


図 14 高等学校におけるむし歯有病率の推移

[出典：文部科学省「学校保健統計調査」]



## (2) 12 歳の永久歯の一人平均むし歯等数

12 歳の一人平均むし歯等数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

12 歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数については、ほぼ横ばいに推移していましたが、平成 26 年度は 1.2 歯に減少し、そのうち未処置歯数は 0.4 歯でしたが、喪失歯数は 0.0 歯でした（表 7、図 15）。

表 7 12 歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数（平成 26 年度）  
（単位：歯）

区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
			計	処置歯数	未処置歯数
計	1.2	0.0	1.2	0.8	0.4
男	1.2	0.0	1.2	0.7	0.4
女	1.2	0.0	1.2	0.8	0.4

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

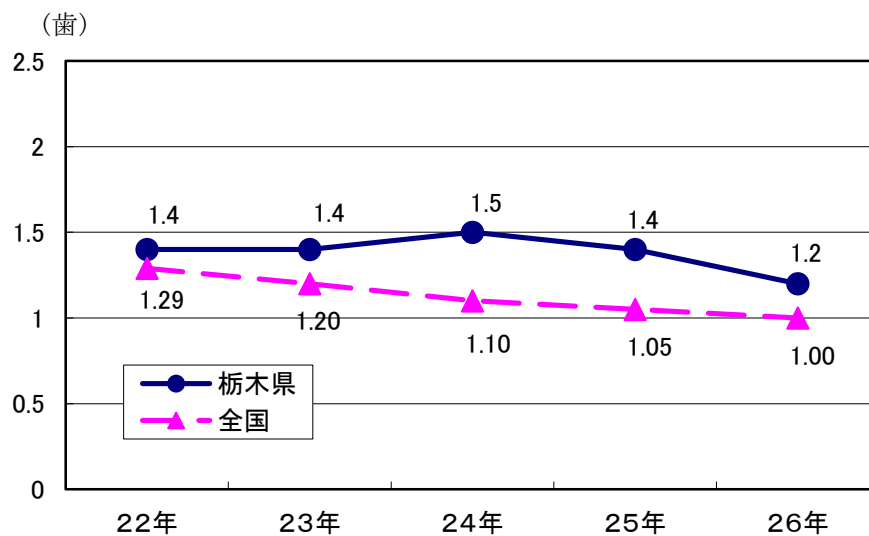


図 15 12 歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

## 4 成人・高齢者

### (1) 歯周疾患検診実施状況

市町村が健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づき実施した 40 歳、50 歳、60 歳及び 70 歳の住民を対象とした歯周疾患検診の結果は次のとおりです。

#### ア 実施状況

平成 25 年度、歯周疾患検診を実施した市町は 24 市町であり、県内市町の実施率は 92%を超える高い実施率でした。

しかし、受診者数は 5,292 人にとどまり、実施市町村の推計対象人口 100,429 人（平成 26 年 1 月 1 日現在）に対して受診率は 5.3%でした。

#### イ 各市町実施状況一覧（平成 25 年度）

市町名	受診者数			受診者数		検査結果			受診者数		検査結果		
				40歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	50歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
	計	男	女	男	女				男	女			
宇 都 宮 市	1,512	447	1,065	94	324	353	30	35	28	181	189	12	8
鹿 沼 市	489	196	293	48	69	94	12	11	39	63	90	9	3
日 光 市													
真 岡 市	381	145	236	31	48	64	9	6	26	56	72	8	2
益 子 町	71	34	37	6	5	8	1	2	10	11	13	3	5
茂 木 町	85	28	57	3	7	7	1	2	2	9	5	3	3
市 貝 町	6	4	2	1	0	1	0	0	1	2	3	0	0
芳 賀 町	40	17	23	3	4	5	2	0	3	3	4	0	2
栃 木 市	892	314	578	77	133	198	6	6	56	122	163	7	8
小 山 市	310	111	199	24	44	49	11	8	17	40	43	6	8
下 野 市	68	14	54	5	14	16	1	2	4	19	22	1	0
上 三 川 町	70	26	44	3	7	10	0	0	6	13	15	2	2
壬 生 町	203	74	129	12	33	27	6	12	7	25	20	2	10
野 木 町	64	35	29	8	4	9	1	2	7	4	7	1	3
岩 舟 町	16	3	13	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0
大 田 原 市													
矢 板 市	47	13	34	3	7	8	0	2	2	8	7	1	2
那須塩原市	482	176	306	33	73	88	6	12	31	69	81	4	15
さくら市	88	27	61	8	14	19	1	2	5	19	22	1	1
那須烏山市	19	3	16	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0
塩 谷 町	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高 根 沢 町	23	9	14	3	2	1	4	0	3	1	2	2	0
那 須 町	80	32	48	5	9	11	1	2	6	8	10	1	3
那 珂 川 町	73	31	42	5	5	10	0	0	7	6	10	1	2
足 利 市	152	43	109	7	20	8	11	8	4	8	8	3	1
佐 野 市	119	28	91	6	23	16	8	5	3	18	18	2	1
計	5,292	1,811	3,481	385	850	1,006	112	117	267	689	808	69	79

(単位:人)

受診者数		検査結果			受診者数		検査結果		
60歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	70歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
男	女				男	女			
56	211	245	9	13	269	349	555	26	37
47	81	110	10	8	62	80	124	8	10
46	74	104	10	6	42	58	86	7	7
12	12	18	3	3	6	9	13	1	1
6	17	18	2	3	17	24	25	7	9
1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
7	8	14	1	0	4	8	12	0	0
84	150	215	7	12	97	173	246	4	20
20	47	50	9	8	50	68	92	15	11
1	12	12	0	1	4	9	10	0	3
11	17	23	3	2	6	7	11	1	1
20	24	35	3	6	35	47	68	4	10
14	9	15	3	5	6	12	15	0	3
2	7	9	0	0	1	3	3	1	0
4	7	8	0	3	4	12	10	3	3
41	87	114	3	11	71	77	127	5	16
6	10	14	1	1	8	18	21	2	3
2	4	6	0	0	1	6	4	2	1
1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
1	7	1	5	2	2	4	2	4	0
7	17	18	1	5	14	14	26	0	2
11	18	28	0	1	8	13	18	1	2
8	29	15	14	8	24	52	40	22	14
6	18	19	5	0	13	32	29	13	3
414	867	1,093	90	98	745	1,075	1,538	126	156

〔栃木県保健福祉部健康増進課集計〕

## (2) 平成 21 年度県民健康・栄養調査結果

平成 21 年度に実施した県民健康・栄養調査による成人・高齢者の歯の状況については次のとおりです。

### ア 歯の本数

自分の歯（親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは除く。さし歯は含む。）は、男性で 20 歳代から、女性でも 30 歳代から減少する傾向がみられました。

男女とも 20 歯以上を持つ者は 50 歳代ではおよそ 80%でしたが、60 歳代では 60%程度に減少していました（図 16）。

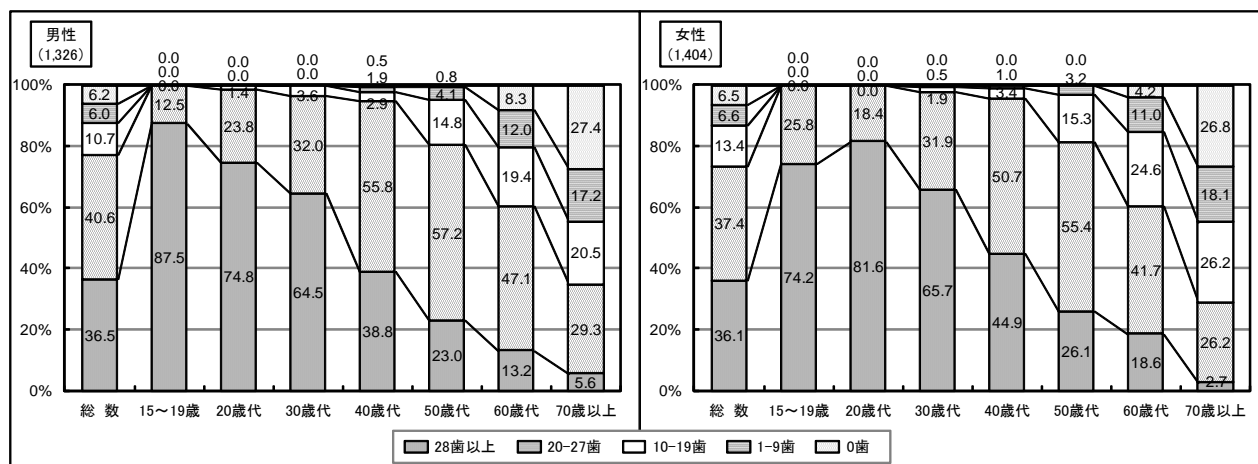


図 16 自分の歯の本数（15 歳以上）

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成 21 年度県民健康・栄養調査」〕

### イ 6024 及び 8020 達成者

60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は、男女とも 50%以上（2 人に 1 人）となっており、平成 15 年に実施した同様の調査に比べて約 10 ポイント高い値でした。

同様に 80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者の割合は、男性で約 3 割、女性で約 2 割であり、前回調査に比べて、約 5%高い値でした（表 8）。

表 8 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

（単位：％）

	60 歳 (55-64 歳) で 24 歯以上		80 歳 (75-84 歳) で 20 歯以上	
	H15	H21	H15	H21
男性	40.0	50.6	22.2	28.1
女性	44.1	54.7	15.5	20.9

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成 21 年度県民健康・栄養調査」〕

ウ 歯科検診の受診率

過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合は、男性 32.5%、女性 38.5%でした。男女とも 15～19 歳では 60%を超え、いずれも前回（平成 15 年）調査と比べて増加していました。

しかし、20 歳以上ではいずれも 50%には届かなく、また 70 歳代以上を除くすべての年齢階級では、女性の受診率が男性を上回っていました（図 17）。

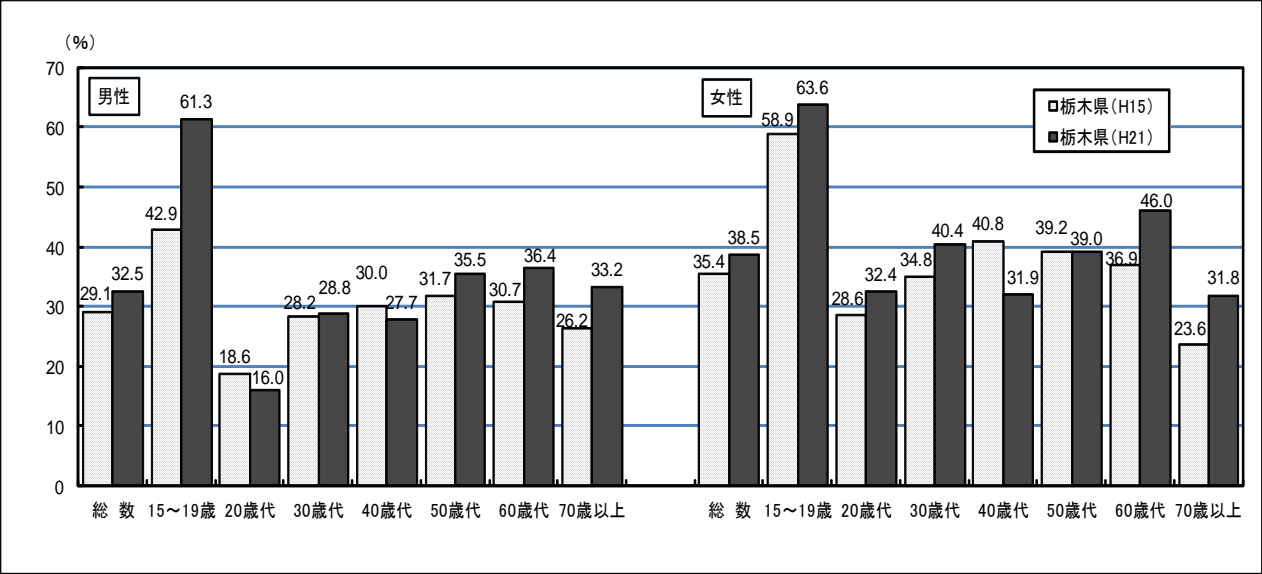


図 17 歯科健診の受診状況（15 歳以上）

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成 21 年度県民健康・栄養調査」〕

〔参考〕歯周病と糖尿病の関連性

生活習慣病のなかでも糖尿病は、歯周病と密接に関連していることが研究により明らかになっております。

歯周病は糖尿病の「第 6 の合併症」と言われており、糖尿病患者は健常者に比べて歯周病が悪化しやすいことが分かっています。

また、慢性炎症としての歯周炎を改善することで、糖尿病が改善する可能性があることも分かっています。

県内の歯周病及び糖尿病患者数については、次のとおりです（表 9）。

表 9 県内の歯周病及び糖尿病の患者数

（単位：千人）

	歯肉炎及び歯周疾患			糖尿病		
	総数	男	女	総数	男	女
患者数	44	17	27	50	28	23

〔出典：厚生労働省「平成 23 年患者調査」〕

### Ⅲ 平成26年度歯科保健医療対策体系

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、県、市町等が実施した歯科保健医療に関する対策については次のとおりです。

区 分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事 業 名	IV 講 じ た 施 策 (参 照)	ライフステージ					実施主体			
			乳 幼 児	学 校	成 人	妊 産 婦	高 齢 者	県	教 育 委 員 会	市 町	関 係 機 関
歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	健康相談	1-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	各種広報による広報活動	1-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	普及啓発	1-(3)	○	○	○	○	○	○			○
	乳幼児対象のフッ化物応用事業		○							○	○
	フッ化物応用事業（塗布・洗口）		○	○						○	○
	フッ化物洗口実施支援事業	1-(4)	○	○				○			○
	歯と口の健康週間事業	1-(5)	○	○	○	○	○	○		○	○
	栃木県歯科保健賞	1-(6)	○	○	○	○	○	○	○		○
	よい歯のコンクール（親と子・三歳児）	1-(7)	○					○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール	1-(8)		○				○	○		○
	よい歯の図画ポスター・作文・標語コンクール	1-(9)		○				○	○		○
歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	へき地歯科巡回診療事業	2-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	健康教育	2-(2)	○					○			○
	永久歯等対策事業（保育所・幼稚園）	2-(3)	○					○			○
	妊産婦歯科健診、集団指導					○				○	
	乳幼児健診等での指導		○							○	
	1歳6か月児健診		○							○	
	2歳児歯科健診、歯科保健指導		○							○	
	3歳児健診		○							○	
	学校歯科検診等			○					○		○
	歯周疾患健康相談、健康教室				○	○	○			○	
	歯周疾患検診（40・50・60・70歳）				○	○	○			○	
障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	障害児者歯科診療事業	3-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	障害児者歯科医療システム2次3次診療機関運営事業	3-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	永久歯等対策事業	3-(3)	○	○				○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業	3-(4)	○	○	○	○	○	○			○
	生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業	3-(5)	○	○	○	○	○	○			○
	在宅歯科医療連携室整備事業	3-(6)	○	○	○	○	○	○			○
	障害児者摂食嚥下指導普及啓発事業	3-(7)	○	○	○	○	○	○			○
歯科保健医療提供体制の整備	健康教育	4-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	歯科保健推進協力交付金	4-(3)	○	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○	○			
	障害児者歯科医療システム在り方検討部会	4-(4)	○	○	○	○	○	○			○
	栃木県8020運動推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(4)	○	○	○	○	○	○			
	歯科保健指導者講習会			○					○		○

## Ⅳ 平成26年度に講じた施策

### 1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であるので、歯や口腔の病気の予防等の各施策を適正かつ効果的に進めていくため、調査研究や成果の普及、情報収集や提供に関する事業を実施しました。

#### (1) 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて、電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

・受付時間：午前9時～午後4時30分

相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防 指導	障害者等 の 歯科相談	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	13	4	6	29	8	28	0	2	44	134

#### (2) 各種広報活動

テレビやラジオ等を活用し、歯科保健に関する様々なトピックについて普及啓発を行いました。

実施月	媒 体 等	内 容
6 月	テレビ（とちぎテレビ）	県政ひとくちメモ：歯と口腔の健康づくり
1 月	テレビ（NHK 宇都宮）	ときめきとちぎ：歯の健康
6、7、10、 12、2 月	講演 (宇都宮市・壬生町・野木町・那須町)	県政出前講座：歯や口腔の重要性について

#### (3) 普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報、媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

##### ア 展示コーナー、図書資料室

- ・図書貸し出し 32 件（47 点）
- ・ビデオ等貸し出し 43 件（114 点）
- ・パネル、備品貸し出し 53 件（655 点）

##### イ 機関紙等発行

- ・とちぎ歯の健康センターだより 第21号
- ・とちぎ歯の健康センター利用のご案内

##### ウ 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

#### (4) フッ化物洗口実施支援事業

市町村や小中学校におけるフッ化物洗口実施支援事業を実施しました。

従事歯科医師数	対象者	実施人員
80 人	市町及び施設	10,913 人

#### (5) 歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内 12 ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
12 回	一般県民	5,912 人

#### (6) 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和 52 年に栃木県歯科医師会が第 29 回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。

県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行いました。

団体の部	栃木県歯科衛生士会足利・佐野支部
	栃木市立西方小学校
個人の部	矢板 裕子（歯科衛生士）

#### (7) 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3 歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。

##### ア 審査内容

- ・第 1 次審査（市町）：3 歳児健診結果の書類審査又は歯科診査
- ・第 2 次審査（宇都宮市・各広域健康福祉センター）：歯科・内科診査
- ・第 3 次審査（県・とちぎ歯の健康センター）：歯科・内科診査

##### イ 審査結果

コンクール名	審 査				審査結果（第 3 次）		
	第 1 次	第 2 次	第 3 次	中 央	最優秀	優 秀	優 良
親と子	63 組	31 組	8 組	1 組	1 組	3 組	4 組
三歳児	331 人	113 人	11 人		1 人	3 人	7 人



## (8) よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催で、コンクールを実施しました。

### ア 審査内容

各小・中学校の定期健診結果、学校保健活動の充実度、歯科保健活動の状況及び歯総数・処置歯率等を総合的に審査しました。

### イ 審査結果

区分	参加校	栃木県 知事賞	栃木県議会 議長賞	栃木県 教育長賞	栃木県医師 会長賞	栃木県歯科 医師会長賞	入選
小学校	231 校	1 校	2 校	3 校	3 校	9 校	50 校
中学校	86 校	1 校	2 校	3 校	3 校	9 校	20 校

	小学校の部	中学校の部
栃 木 県 知 事 賞	栃木市立西方小学校	栃木市立西方中学校
栃 木 県 議 会 議 長 賞	大田原市立佐久山小学校	宇都宮市立晃陽中学校
	宇都宮市立陽南小学校	那須町立那須中学校
栃 木 県 教 育 長 賞	宇都宮市立峰小学校	佐野市立田沼西中学校
	大田原市立奥沢小学校	宇都宮市立陽東中学校
	下野市立祇園小学校	足利市立毛野中学校
栃 木 県 医 師 会 長 賞	宇都宮市立細谷小学校	宇都宮市立清原中学校
	下野市立国分寺小学校	大田原市立金田南中学校
	栃木市立国府北小学校	高根沢町立阿久津中学校
栃 木 県 歯 科 医 師 会 長 賞	上記 9 校	上記 9 校

## (9) よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から図画・ポスター、作文、標語に関するコンクールを実施しました。

区 分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2 点	21 点
	中学校	1 点	12 点
作 文	小学校	2 点	16 点
	中学校	1 点	7 点
標 語	小学校	2 点	20 点
	中学校	1 点	8 点

## 2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組むため、学習や歯科検診の機会の提供等に関する事業を実施しました。

### (1) ヘき地歯科巡回診療

無歯科医地区を有する市町村の中で、要請のあった地域を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による地域住民の歯科診療を実施しました。

市町名	実施場所	実施回数	患者実人数	患者延人数
日 光 市	栗山小学校	6 回	9 人	40 人
那 珂 川 町	馬頭東小学校	9 回	10 人	58 人
	馬頭西小学校	9 回	8 人	38 人
合 計		24 回	27 人	136 人

### (2) 健康福祉センターでの健康教育

健康福祉センターにおいて歯科保健に関する健康教育を実施しました。

健康福祉センター名	実施日	実施内容	対象者	参加者数
県南健康福祉センター	6 月 18 日 9 月 4 日	歯科保健指導 (養育支援)	乳幼児と保護者	16 人

(3) 永久歯等対策事業（保育所・幼稚園）

県内の保育所・幼稚園の幼児と保護者等を対象として、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」を中心に歯科保健指導を行いました。

保育所・幼稚園 （実施回数：24回、対象者総数：1,150人）

	市町名	施設名	対象者数（人）		
			幼 児	保護者	職 員
1	日 光 市	さかえ保育園	35	32	4
2	〃	清滝幼稚園	12	12	2
3	真 岡 市	真岡保育所	28	24	4
4	茂 木 町	中川保育園	13	6	3
5	芳 賀 町	のぶ幼稚園	46	14	3
6	栃 木 市	いりふね保育園	14	8	3
7	〃	認定こども園おおみや幼児教育センター	68	68	7
8	〃	栃木市部屋保育園	4	4	5
9	小 山 市	大谷幼稚園	15	12	3
10	〃	安房神社幼稚園	32	28	2
11	大 田 原 市	大田原市ゆづかみ保育園	29	17	3
12	〃	かねだ保育園	17	13	4
13	〃	明星館幼稚園	13	13	3
14	那 須 塩 原 市	ゆたか保育園	24	14	6
15	〃	東保育園	25	15	3
16	〃	那須塩原市たかはやし保育園	17	12	5
17	〃	那須塩原市大貫保育園	8	8	2
18	〃	那須塩原市さきたま保育園	33	23	6
19	〃	なべかけ保育園	10	10	4
20	那 珂 川 町	那珂川町立ひばり幼稚園	25	25	4
21	足 利 市	しんまち保育園	23	20	4
22	〃	わかば保育園	25	21	4
23	〃	足利両野保育園	57	3	7
24	〃	花園幼稚園	53	29	2
合 計			626	431	93

### 3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害児者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

#### (1) とちぎ歯の健康センター診療所

1 階の診療所において、障害児者を対象に歯科診療を実施しました。

##### ア 診療体制

- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制）
- ・診療時間 午前：9 時～12 時、午後：1 時 30 分～5 時
- ・スタッフ
  - 午前：歯科医師 1 名（常勤）
  - 歯科衛生士 6 名（常勤）
  - 午後：歯科医師 3 名（常勤 1 名、輪番制診療実行委員 2 名）
  - 歯科衛生士 7 名（常勤 6 名、他 1 名）

##### イ 診療実績

患者延人数 (人)	新 患	76
	再 来	3,641
	合 計	3,717

##### ウ 月別患者数

月	患者延人数 (人)	診療日数 (日)	1 日平均 患者数(人)
4 月	338	21	16
5 月	314	20	16
6 月	326	21	16
7 月	336	21	16
8 月	274	16	17
9 月	312	20	16
10 月	326	22	15
11 月	266	15	18
12 月	288	18	16
1 月	297	19	16
2 月	305	19	16
3 月	335	22	15
合 計	3,717	234	—
平 均	—	—	16

[参考]

施設所在地 栃木県宇都宮市一の沢 2 丁目 2 番 5 号  
 連絡先 TEL：028-648-6480 FAX：028-648-6483



(2) 障害児者歯科医療システム 2 次、3 次診療機関運営事業

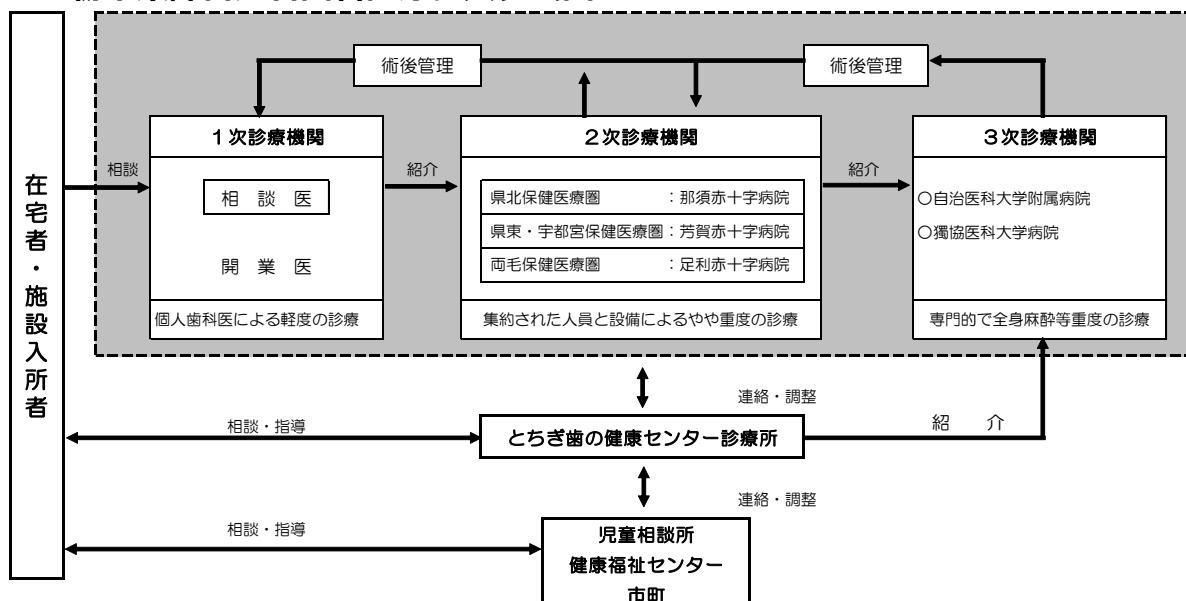
障害者における口腔衛生管理の充実を図るため、障害児者歯科医療システムの 2 次、3 次診療機関（重度障害者が対象）の運営経費に対して助成しました。

- ・ 2 次診療機関：やや重度の障害者を対象  
 那須赤十字病院、芳賀赤十字病院、足利赤十字病院
- ・ 3 次診療機関：2 次診療機関で対応できない重度の障害者を対象  
 自治医科大学附属病院、獨協医科大学病院

[参考] 栃木県障害児者歯科医療システム

本県では障害児者が歯科医療を受診する機会を確保するため、「栃木県障害児者歯科医療システム」を構築しています。

栃木県障害児者歯科医療システム図



(3) 永久歯等対策事業（障害児通園施設・特別支援学校対象）

障害児通園施設通所児と保護者、指導者等、特別支援学校児童と保護者、教諭等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」を中心に集団指導及び個別相談指導を行いました。

ア 障害児通園施設（実施回数：13回、対象者総数：231人）

	市町名	施設名	対象者数（人）		
			幼 児	保護者	職 員
1	鹿 沼 市	こども発達支援センター 鹿沼市あおば園	9	9	2
2	日 光 市	日光市こども発達支援センター つばさ園	3	3	1
3	真 岡 市	真岡市こども発達支援センター ひまわり園	8	8	1
4	栃 木 市	社会福祉法人すぎのこ会 児童発達支援事業所 やまと	5	5	1
5	〃	栃木市社会福祉協議会 キッズホームとちぎ	11	11	1
6	〃 (旧岩舟町)	社会福祉法人すぎのこ会 児童通所支援事業所 ひまわり	6	4	2
7	小 山 市	社会福祉法人小山市社会福祉協議会 こども発達支援センター たんぽぽ園	15	15	2
8	〃	特定非営利活動法人小山市 こども発達支援センター リズム園	10	11	2
9	壬 生 町	社会福祉法人壬生町社会福祉協議会 壬生町こども発達支援センター ドリームキッズ	7	7	4
10	大 田 原 市	社会福祉法人エルム福祉会 Smile	2	2	5
11	矢 板 市	社会福祉法人たかはら学園 こども発達支援センター たけのこ園	11	11	2
12	那 須 塩 原 市	那須地区広域行政事務組合 こども発達支援センター なすの園	7	7	1
13	那 須 烏 山 市	烏山地区こども発達支援センター くれよんクラブ	9	9	2
合 計			103	102	26

イ 特別支援学校（実施回数：10回、対象者総数：197人）

	市町名	施設名	対象者数（人）		
			児 童	保護者	職 員
1	宇 都 宮 市	盲学校	1	1	2
2	〃	宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	2	2	2
3	〃	のざわ特別支援学校	11	8	5
4	〃	富屋特別支援学校	15	11	7
5	鹿 沼 市	富屋特別支援学校鹿沼分校	5	5	5
6	益 子 町	益子特別支援学校	5	4	2
7	栃 木 市	栃木特別支援学校	17	15	5
8	下 野 市	国分寺特別支援学校	15	11	4
9	那 須 塩 原 市	那須特別支援学校	12	4	6
10	那 須 烏 山 市	南那須特別支援学校	6	6	3
合 計			89	67	41

#### (4) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

要請のあった障害者施設及び老人施設を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科健診、相談、指導を実施しました。

	市町名	施設名	実施回数 (回)	健診者数 (人)	口腔衛生 指導者数 (人)
1	宇 都 宮 市	特別養護老人ホーム はりがや	2	46	17
2	〃	特別養護老人ホーム とちの木荘	1	12	6
3	〃	特別養護老人ホーム 高砂荘	1	19	6
4	〃	特別養護老人ホーム 高砂荘新館	1	14	9
5	鹿 沼 市	障害者支援施設 鹿沼市やまびこ荘	1	26	9
6	〃	障害者支援施設 シンフォニーあわの	3	20	20
7	日 光 市	障害者支援施設 皇海荘	3	73	6
8	〃	障害者支援施設 第二皇海荘	3	71	11
9	〃	障害者支援施設 すぎなみき学園	1	31	2
10	栃 木 市	特別養護老人ホーム ひまわり	2	54	19
11	〃	特別養護老人ホーム みつみねの郷	1	20	13
12	〃	特別養護老人ホーム 緑風苑	3	70	16
13	小 山 市	障害者支援施設 サンフラワー療護園	4	51	26
14	矢 板 市	障害者支援施設 たかはら学園 福祉型障害児入所施設	1	18	14
15	〃	障害者支援施設 たかはら育成園	2	48	31
16	那 須 塩 原 市	特別養護老人ホーム つばきハウス	1	28	11
17	さ く ら 市	特別養護老人ホーム にこんきつれ荘	3	47	32
18	那 須 烏 山 市	特別養護老人ホーム あいぜん	2	28	17
19	益 子 町	特別養護老人ホーム ましこの里 星の宮	2	25	9
20	足 利 市	特別養護老人ホーム 湯の里長寿苑	3	48	33
合 計			40	749	307

#### (5) 生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業

全身の健康維持の観点から、要介護者等の口腔機能向上を図ることを目的に、地域単位での介護現場における口腔ケアを推進するため、歯科医師・歯科衛生士などの歯科専門職が講師となり、看護及び介護従事者等を対象とした実践的な研修会を開催しました。

実施回数	参加者数
6 回	155 人

#### (6) 在宅歯科医療連携室整備事業

障害児者や要介護者等が住み慣れた地域で、必要な歯科医療や保健指導を受ける機会を確保するため、在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出等を行う機関の整備に要する経費に対して助成しました。

#### (7) 障害児者摂食嚥下指導普及啓発事業

障害児者や要介護者に対する摂食嚥下指導の重要性について医療従事者等の理解促進を図るため、検討会や講演会を実施しました。

また、障害児者等への摂食嚥下指導を行える歯科専門職を養成するための摂食嚥下指導マニュアルを作成しました。

## 4 歯科保健医療提供体制の整備関連事業

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るために、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

#### (1) 健康教育

歯科保健に関する健康教育を実施しました。

実施日	実施内容	対象者	参加者数
5月13日	歯科保健指導・体験学習	小山市健康推進員 間々田支部	32人
6月26日	視察研修	北海道歯科医師会 北海道障害者歯科医協力医	1人
7月25日	歯科保健指導・体験学習	特別支援学校養護教諭	23人
10月9日～ 12月18日	歯科保健指導・体験学習	栃木県歯科医師会 歯科助手認定講習会受講者	46人
11月11日～ 12月17日	学生に対する指導教育	栃木県立衛生福祉大学校 歯科衛生学科学生	24人



(2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

開催日	内容・講師	対象者	参加者数
8月3日	<p>講演：「障がい者歯科における「医療面接」と「行動調整」について」</p> <p>講師：岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター センター長、教授 江草 正彦</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>「とちぎ歯の健康センターと1次医療機関との医療連携について」</p> <p>[パネリスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター センター長、教授 江草 正彦</li> <li>・とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師 牧野 兼三</li> <li>・栃木県歯科医師会 理事 箱島 光一</li> </ul> <p>[コーディネーター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ歯の健康センター 指導医 向井 美恵</li> </ul>	歯科医師、 歯科衛生士	74人
2月22日	<p>講演：「自閉症スペクトラム障害者の歯科治療と歯科疾患の予防」</p> <p>講師：松本歯科大学障害者歯科学講座 教授 小笠原 正</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>「とちぎ歯の健康センターと1次医療機関との医療連携について」</p> <p>[パネリスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本歯科大学障害者歯科学講座 教授 小笠原 正</li> <li>・とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師 牧野 兼三</li> <li>・とちぎ歯の健康センター事業検討委員会 委員 田村 厚子</li> <li>・とちぎ歯の健康センター事業検討委員会 委員 亀田 智</li> </ul> <p>[コーディネーター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ歯の健康センター 指導医 向井 美恵</li> </ul>	歯科医師、 歯科衛生士	73人

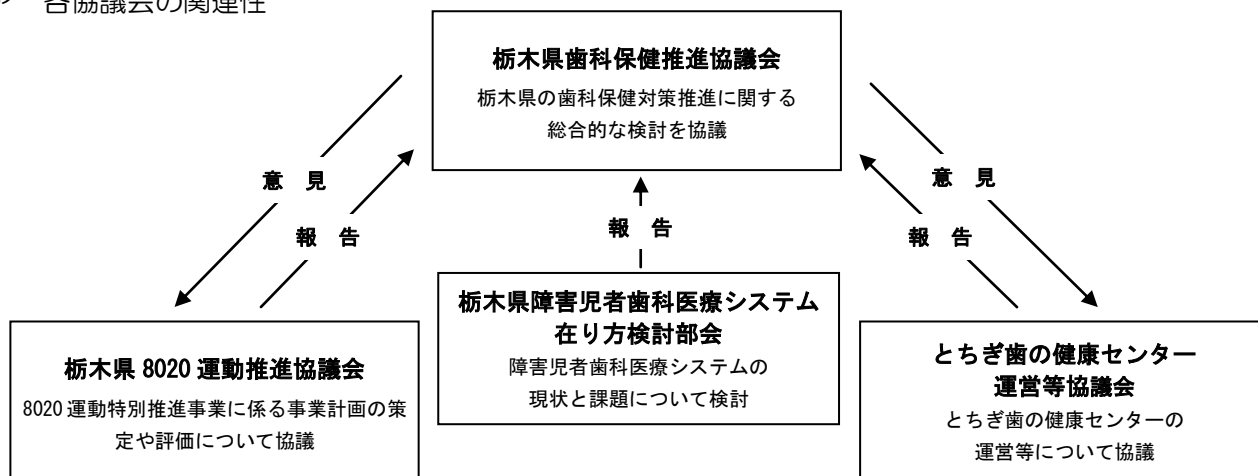
(3) 歯科保健推進協力交付金

(一社) 栃木県歯科医師会で実施する歯科保健対策推進事業への支援を実施しました。

#### (4) 歯科保健対策関連協議会

本県では歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会と1つの部会を設置しています。

##### ア 各協議会の関連性



##### イ 栃木県歯科保健推進協議会

本県における歯科保健対策を推進するため、様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、本県の総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

##### (ア) 平成26年度栃木県歯科保健推進協議会の結果

- ・日 時：平成26年8月7日（木）午後2時00分～4時00分
- ・場 所：県庁本館 9階会議室3
- ・出席者：委員13名
- ・議 題
  - (1) 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり事業の概要について
  - (2) 栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会の設置等について
  - (3) 在宅歯科診療連携事業について

##### (イ) 栃木県歯科保健推進協議会委員（H26）

	氏 名	所属・役職等
1	柴 田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	宮 下 均	栃木県歯科医師会副会長（地域保健担当）
3	瓦 井 昭二	栃木県歯科医師会常務理事（学校保健担当）
4	前 原 操	栃木県医師会副会長
5	長 谷 規子	栃木県歯科衛生士会副会長
6	菊 地 澄男	栃木県歯科技工士会会長
7	川 田 亨	栃木県老人福祉施設協議会理事（特別養護老人ホームかがやき）
8	森山 千枝子	栃木県保育協議会理事（宇都宮市あゆみ保育園長）
9	稲 葉 雅美	市町村代表（茂木町保健福祉課長）
10	岡 崎 眞弓	栃木県市町村保健師業務研究会副会長（市貝町健康福祉課）
11	鈴 木 裕之	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	武 藤 孝司	栃木産業保健総合支援センター所長
13	小 川 富美子	栃木県栄養士会理事（福祉協議会長）
14	鈴 木 美恵子	栃木県食生活改善推進団体連絡協議会会長
15	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校副校長兼歯科技術学部長

・任期：H25.8.22～H27.8.21（2年間）

## ウ 栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会

平成 25 年度に障害児者歯科医療の向上を図ることを目的として、栃木県歯科保健推進協議会内に当該部会を設置し、障害児者歯科医療システムの現状と課題について検討しました。

### (ア) 第2回栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会

- ・ 日 時：平成 26 年 10 月 29 日（水）午後 6 時 00 分～8 時 00 分
- ・ 場 所：県庁本館 9 階会議室 3
- ・ 出席者： 委員 13 名
- ・ 議 題
  - (1) 障害児者に対する歯科医療に関する調査結果について
  - (2) 栃木県障害児者歯科医療システム見直しの方向性について

### (イ) 第3回栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会

- ・ 日 時：平成 27 年 3 月 4 日（水）午後 6 時 00 分～7 時 30 分
- ・ 場 所：県庁本館 9 階会議室 3
- ・ 出席者： 委員 13 名
- ・ 議 題
  - (1) 栃木県障害児者歯科医療システム見直し（案）について
  - (2) 栃木県障害児者歯科医療協力医制度の骨子（案）について

### (ウ) 栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会委員（H26）

	氏 名	所属・役職等
1	入 野 光 市	栃木県歯科医師会常務理事
2	植 原 雅 章	栃木県歯科医師会理事
3	須 永 芳 弘	須永歯科医院院長
4	上 野 泰 宏	上野デンタルクリニック院長
5	宮 城 徳 人	那須赤十字病院歯科口腔外科部長
6	岡 田 宗 久	芳賀赤十字病院歯科口腔外科部長
7	山 根 伸 夫	足利赤十字病院歯科口腔外科部長
8	伊 藤 弘 人	自治医科大学歯科口腔外科助教
9	和久井 崇大	獨協医科大学口腔外科助教
10	牧 野 兼 三	とちぎ歯の健康センター専任歯科医師
11	江 面 陽 子	あしかがの森足利病院歯科非常勤歯科医師
12	菊 地 公 治	国際医療福祉大学病院歯科口腔外科歯科医師
13	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校副校長兼歯科技術学部長

- ・ 任期：H26. 1. 6～H27. 3. 31

## エ 栃木県 8020 運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020 運動推進特別事業」（国庫補助事業）を活用して実施する、本県の歯科保健対策事業について協議しました。

### （ア）平成 26 年度栃木県 8020 運動推進協議会

- ・日 時：平成 27 年 3 月 11 日（水）午後 2 時 30 分～3 時 30 分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3 階研修室（宇都宮市一の沢 2-2-5）
- ・出席者： 委員 7 名
- ・議 題
  - （1）平成 26 年度 8020 運動推進特別事業の実施状況について
  - （2）平成 27 年度 8020 運動推進特別事業の実施計画案について

### （イ）栃木県 8020 運動推進協議会委員（H26）

	氏 名	所属・役職等
1	柴 田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	宮 下 均	栃木県歯科医師会副会長
3	田 村 一夫	栃木県歯科医師会専務理事
4	林 幸 子	栃木県歯科衛生士会会長
5	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進団体連絡協議会会長
6	善 林 景子	栃木県教育委員会事務局健康福利課長
7	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校副校長兼歯科技術学部長

- ・任期：H27. 3. 1～H28. 2. 29（1 年間）

## オ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

### （ア）平成 26 年度とちぎ歯の健康センター運営等協議会

- ・日 時：平成 27 年 3 月 11 日（水）午後 3 時 30 分～4 時 30 分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3 階研修室（宇都宮市一の沢 2-2-5）
- ・出席者： 委員 4 名
- ・議 題
  - （1）平成 25 年度事業実施状況について
  - （2）平成 26 年度事業実施状況について
  - （3）平成 27 年度事業実施計画案について

### （イ）とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員（H26）

	氏 名	所属・役職等
1	柴 田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	田 村 一夫	栃木県歯科医師会専務理事
3	入 野 光市	栃木県歯科医師会常務理事
4	林 幸 子	栃木県歯科衛生士会会長

- ・任期：H26. 3. 1～H28. 2. 28（2 年間）

## V 平成27年度に講じる施策

事業名	事業説明	事業内容等	予防の推進	啓発と検診の普及	障害児者等	体制整備等
歯の健康センター事業 (29,758 千円)	とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害児者歯科診療、巡回歯科相談、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発</li> <li>相談事業（電話相談等）</li> <li>永久歯対策事業</li> <li>歯科保健従事者研修会</li> <li>障害児者歯科診療</li> <li>福祉施設巡回歯科健診・相談</li> <li>歯と口の健康週間事業</li> <li>フッ素洗口事業</li> </ul>	○ ○  ○ ○	○  ○	○ ○	○
8020 運動推進事業 (4,425 千円)	80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保つことを目標とした各種事業に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催</li> <li>障害児者歯科医療システム在り方検討部会</li> <li>障害児者摂食嚥下指導普及啓発事業</li> </ul>			○ ○	○ ○ ○
歯科保健普及啓発事業 (2,747 千円)	歯科保健事業の充実及びその連絡調整事務等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤嘱託員人件費等</li> <li>よい歯のコンクール</li> </ul>	○			○
歯及び口腔の健康づくり推進事業費 (789 千円)	県民の歯及び口腔の健康づくりを推進するために要する経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催</li> <li>普及啓発</li> <li>地域における歯科保健対策の推進</li> <li>成人歯科健診事業</li> </ul>	○	○		○ ○
地域での健康づくり・医療連携環境整備事業 (1,301 千円)	地域医療再生計画に基づく、地域での健康づくり・医療連携環境整備事業の実施に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業</li> </ul>			○	○
障害児者歯科医療システム推進事業 (5,000 千円)	障害や歯科疾患の程度に応じた歯科医療システムの円滑な運営に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者歯科医療システム2次、3次診療機関への運営経費に対する補助</li> </ul>			○	○
歯科保健推進協力交付金 (7,200 千円)	歯科保健対策事業に対する交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県歯科医師会に対しての交付金</li> </ul>				○
在宅歯科医療推進事業 (5,159 千円)	在宅歯科医療推進事業に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅歯科医療連携室の運営</li> <li>在宅歯科医療従事者研修事業</li> <li>在宅歯科医療設備整備事業</li> <li>歯科衛生士の再就職支援事業</li> </ul>			○ ○ ○	○ ○ ○ ○
合 計 (56,379 千円)						

※事業名欄のカッコ内は予算額である。

## Ⅵ 資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成26年度）

### ライフステージごとの事業実施一覧

事業 *1 市町名	妊産婦	乳児	1歳6ヶ月児	2歳児	3歳児	幼児	フッ化物	学童生徒	成人	歯周疾患検診	高齢者	全ライフ ステージ *2	計画 *3
宇都宮市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿沼市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日光市			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
真岡市			○	○	○	○	○		○	○	○		○
益子町	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○
茂木町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市貝町		○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
芳賀町			○	○	○	○	○	○		○	○		○
栃木市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小山市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下野市	○		○		○	○	○	○		○	○		○
上三川町	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
壬生町			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
野木町	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
大田原市		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
矢板市		○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
那須塩原市			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さくら市		○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
那須烏山市	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
塩谷町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
高根沢町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那珂川町		○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
足利市		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐野市		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
合計	9	17	25	22	25	25	24	19	18	24	24	15	25

\*1 事業の区分は各市町からの報告に基づき掲載

\*2 全住民を対象としたイベント事業

\*3 健康増進計画内に歯科が盛り込まれている計画